

広島グリーンアリーナの利用調整状況（令和 8 年度）について

1 要旨・目的

令和 8 年度から 5 年程度を目安に、広島ドラゴンフライズ（以下「ドラフラ」という。）が、県立総合体育館大アリーナ（以下「広島グリーンアリーナ」という。）をホームアリーナとして利用することから、県は、この間の利用調整に係る運用方針をまとめ、令和 7 年 10 月 1 日から運用を開始した。

この度、令和 8 年度の主な利用調整が終了したので、結果を報告する。

2 現状・背景

- ドラフラが、令和 8 年度の 2026-27 シーズンから始まる Bリーグ・プレミアに参入するためには、参入条件となるアリーナ基準を充足する広島グリーンアリーナをホームアリーナとして利用する必要があるため、県は、ドラフラの Bリーグ・プレミアへの参入に協力することとした。
- その際、年間 60 試合、ホームゲーム 30 試合のうち、少なくとも 8 割となる 24 試合をホームアリーナで開催する必要があり、現在の広島グリーンアリーナの利用状況に一定の影響が生じる。
- また、近年、広島グリーンアリーナの利用状況については、展示会・集会での利用が減少傾向にある一方で、学校体育祭、コンサート等有料興行のニーズは増加傾向にある。

3 運用方針（令和 7 年 10 月 1 日から適用）の概要

(1) 非代替性の観点

スポーツ大会やコンサート等有料興行の早期利用調整にあたり、従来までの参加人数（3,000 人以上）、利用日数（準備・撤去を含めて 3 日以上）等の一律の早期内定基準要件を見直し、広島グリーンアリーナで実施する必要性等、他施設との非代替性（規模や聖地性等）について、利用調整会議を設置し、個別に検討する。

(2) 利用状況の特徴の観点

- ・ コン서트等有料興行制限は、原則、10%（開館日数に占める広島グリーンアリーナの有料興行日数の割合）を維持する。ただし、利用調整会議において柔軟な運用について協議することができるものとする。
- ・ なお、平日のコンサート等有料興行について開催ニーズがある場合には、積極的に調整することとし、平日の興行については制限日数（10%）には含めない。

4 令和8年度の利用調整の結果（主なもの）

(1) 広島ドラゴンフライズ

2026-27シーズンについて、広島市内及び福山市内の他施設とも連携して利用調整を行った結果、令和8年度は、平日13試合、土日8試合の計21試合*を広島グリーンアリーナで開催することとなった。

* 24試合（年間60試合、ホームゲーム30試合の8割）に満たないのは、令和9年4月～5月の日程を含んでいないためである。令和9年4月～5月は平日2試合、土日1試合、計3試合の開催を予定している。

(2) スポーツ大会等

令和8年度の利用調整を行った結果、広島グリーンアリーナをメイン会場として開催するスポーツ大会は、全国規模の大会2件（7日）、西日本や中国ブロック規模の大会10件（34日）を開催することとなった。

また、平日の有効活用のため、近年要望の多い学校体育祭についても積極的な利用調整を行った結果、昨年度から6日増加し、令和8年度は学校体育祭を25日行う予定である。

(3) コンサート等有料興行

平日利用の積極的な利用調整や有料興行制限の柔軟な運用を行った結果、コンサート等有料興行の本番予定日数は、昨年度から9日（19%）増加し、56日となり、開館日数（352日予定）に占める割合は、約16%となった。

なお、コンサートの本番予定日数は、昨年度から10日（26%）増加し、49日となり、開館日数に占める割合は、約14%となった。

【令和8年度のコンサート等有料興行予定日数】 ※下段（ ）内は開館日数に占める割合 [単位：日]

コンサート A			コンサート以外 B			コンサート等有料興行合計 A+B		
土日	平日	小計	土日	平日	小計	土日	平日	小計
41* ¹	8* ²	49	6	1	7* ³	47	9	56* ⁴
(11.6%)	(2.3%)	(13.9%)	(1.7%)	(0.3%)	(2.0%)	(13.4%)	(2.6%)	(15.9%)

*1 King Gnu、B'z、ゆず、THE RAMPAGE、DREAMS COME TRUE、Mr.Childrenなど。

*2 FRUITS ZIPPER、藤井風など。

*3 ディズニー・オン・アイス2026、HIROSHIMA CONTI-NeW FeSなど。

*4 運用見直し前は「コンサート等有料興行合計A+B」を10%とする運用を行ってきた。

5 予算（単県）

369,143千円（体育施設管理費）

6 今後の対応

引き続き、県立総合体育館が大会誘致によるスポーツ推進と地域の賑わいの拠点として機能できるよう、新たな運用方針に基づく毎年度の利用調整状況を踏まえ、広島グリーンアリーナの更なる有効利用に取り組む。